

## エネルギー転換部門における主な意見・論点

第4回目標達成シナリオ小委員会のエネルギー転換部門の検討で提出された主な意見・論点は以下のとおり。

### 1. 検討の枠組みについて

情報通信技術や分散電源等の導入による効果については、排出量増加の要因も含め、部門別にではなく横断的な対策として扱ってはどうか。

### 2. 削減ポテンシャルについて

小水力発電の他、日本は四方が海なので、波力発電、潮力発電についても検討の対象に加えるべきではないか。

高効率変圧器の導入による送配電損失低減についても検討に加えるべきではないか。

17ページに農業・畜産系廃棄物について「サーマルリサイクル」という言葉が使用されているが、これは直接燃焼を意味するのでもっと適切な言葉を使うべきである。また、エネルギー利用を行っても窒素分が減少するわけではないので、誤解のないような説明とすべきである。

### 3. コスト評価について

風力発電は、発電量が自然条件に依存し出力が変動する電源であるため、既存技術による設備と比べ電源として同等の効果が見込めない。このため、既存技術による電力の費用と比較の上で追加費用を算定する方法では、費用が過小評価されていると考えられる。